

International Conference on Experimental Mechanics (ICEM 2018) 参加報告

博士課程 3 年 武末翔吾

私は 2018 年 7 月 1 日～5 日にベルギーのブリュッセルで開催された International Conference on Experimental Mechanics (ICEM 2018)に参加しました。ICEM は 2 年に 1 回開催され、今回が 18 回目となります。前回は 2016 年に、私も昨年 International Conference on Fracture に参加するために訪れたギリシャのロドス島で開催されました。今回開催されたブリュッセルはベルギーの首都で、成田空港から直行便があり、日本からのアクセスも良い場所です。

この会議では、実験力学に関して研究した成果が発表されます。セッションは複合材料や接合材、積層造形材など特定の材料に注目したものや、疲労や腐食など材料の特性に注目したもの、非破壊検査やモニタリング技術など材料の分析・評価手法に注目したものなど多岐にわたりました。今回はキーノートスピーチ、オーラルセッション、ポスターセッション併せて約 300 件の発表が行われました。

私は最終日の 7 月 5 日に “Fatigues, Fracture, Failure and damage evolution” というセッションで、“Effect of the nitrogen diffusion layer formed by gas blow induction heating nitriding on wear resistance and fatigue properties of titanium alloy” という題目で発表しました。国際会議での発表は約 1 年ぶりでしたが、修士課程在籍時から数えると 5 回目の国際会議での発表となり、ようやくスムーズに発表できるようになりました。また今回は質疑応答の際に、2 人の方から質問をいただき、自分の発表内容がしっかり伝わったと感じています。また今までの国際会議の中では一番、質問に対してしっかり答えられたと思います。発表後も日本から参加された先生に「英語上手だね」というお言葉をいただき、自身の英語力の向上を実感できる国際会議となりました。



オープニングセレモニーや plenary talk は映画館のように広い会場で行われました



私の発表は 50 人ほどが座れる会場で行われました



ランチやコーヒブレイクは中央に川が流れるスペースで、立食形式で行われました



ブリュッセルの街並みは非常に美しいものでした

今回初めて ICEM に参加しましたが、土木や計測など普段はあまり関わらない分野の方々ともお話しでき、非常に有意義でした。次回の **International Conference on Experimental Mechanics** は 2020 年 7 月 5～9 日にポーランドのクラクフで開催される予定です。ご興味のある方は参加を検討されてはいかがでしょうか。

最後になりましたが、本国際会議で発表する機会を与您いただき、発表練習等にお付き合いいただいた小茂鳥先生、本発表で連名者となつていただき、日頃より研究内容についてご助言いただいている広島大学の曙先生、静岡大学の菊池先生に御礼申し上げます。また、現地では神戸大学の中井先生、摂南大学の久保先生、岡山理科大学の清水先生、京都大学の塩谷先生、明治大学の有川先生にお世話になりました。この場で感謝申し上げます。